

事業所における児童発達支援自己評価結果(公表)

公表:平成31年 3月

事業所名:すてっぷ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	0	・少しでも活動スペースを確保できるような収納を購入したり、手作りで収納を作成したりしている。	
	2	職員の配置数は適切であるか	5	0	・活動に取り組むことができているが、余裕はない。 ・不足していることを感じている。	・引き続き、職員育成、定着に力を入れていく。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5	0	・集中しやすい環境設定や、何を求めるのか、何を求められているのか分かりやすい視覚支援ツールを使用している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	5	0	・活動終了後には、毎日清掃をしている。 ・湿度や室温など、必要に応じて調整している。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5	0	・活動終了後には、職員全員でその日の振り返りを行い、次回の活動につながるよう話し合いを実施している。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	0	5	・保護者向けの評価表を実施していない。	・今年度から実施していく。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	0	5	・実施していない。	今年度から実施していく。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	3	・第三者の評価は実施していない。 ・法人内の他事業所の職員と交流研修を実施し、改善につなげている。	・県民局からの実地指導を受け、業務見直し、改善を行っている。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	0	・階層別研修を受けている。 ・外部研修を受けている。	

適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	5	0	・保護者の要望や子どもの実態を踏まえ、支援計画を作成している。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	0	・遠城寺式発達検査、太田STAGEを使用している。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5	0	・家庭での過ごし方、子どもへの接し方について、個別に対応している。 ・園訪問を実施し、園での支援や情報共有を行っている。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5	0	・個別サービスプラン書を基に、活動内容を組んでいる。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	0	・担当職員が活動を考え、職員間で取り組み方を共有、再検討している。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	0	・同じねらいで、異なる活動内容を各職員で提案し、実施している。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	5	0	・子どもの実態に合わせた活動を組み合わせ、スケジュールを組んでいる。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	0	・職員、子どもの動きを視覚化し、職員全員で確認することができるようにすることで、各職員の動きや活動で求めていくことを明確にしている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	0	・活動終了後、毎日振り返りを実施し、職員間で情報共有を行っている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	0	・ほぼ全ての活動内容の記録をとり、次回の活動につなげている。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5	0	・課題を達成した場合には、次にどのような内容にしていくなか、保護者と確認している。	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	0	・基本的には、児童発達支援管理責任者が参加している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	5	0	・必要な場合には、保健師やサポートセンターと連携をとっている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	0	5	・対象となる子どもは在籍していない。	・医療的ケアが必要な子ども、重症心身障害の子どもは在籍していない。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	0	5	・対象となる子どもは在籍していない。	・医療的ケアが必要な子ども、重症心身障害の子どもは在籍していない。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5	0	・園訪問を実施したり、必要に応じて園と連絡を取り合ったりしている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5	0	・必要な場合には、連携をとっている。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	0	・センター、医療機関、発達障害者支援センターと情報共有を行い、助言を受けている。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0	5	・基本的に、園と並行利用しているため、こども同士が交流する機会はない。	・園に所属している子どもが利用しているため、保育所、認定こども園、幼稚園等との交流はない。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	0	5	・参加していない。	・同法人内の職員が必要に応じて参加している。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	0	・連絡帳や送迎の際に、情報共有を行っている。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	3	2	・ペアレントトレーニングという内容で助言は行っていない。 ・保護者からの相談へ対応している内容が、ペアレントトレーニングになっている。	・保護者からの日々の相談の中で、子どもへの関わり方、対応について助言を行っている。

保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	0	・契約をする際に、責任者が行っている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	5	0	・懇談で支援の内容を説明し、保護者からの同意を得てから子どもへの支援を実施している。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	0	・可能な限り、相談があった時にタイムリーに対応できるようにしている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	0	・保護者向け勉強会(新規利用児)、保護者向け座談会(就学児)を実施している。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	0	・可能な限り、相談があった時にタイムリーに対応できるようにしている。 ・すぐに対応することが難しい場面では、日を改めて時間を設けている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	0	・毎月、すてっぷつうしんを配布し、予定や活動内容を発信している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	5	0	・一人ずつ個別のファイルで管理し、厳重に保管している。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	0	・絵、写真、イラスト、実物などの情報伝達ツールを使用している。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	3	・招待はしていない。 ・地域の公園を利用しており、挨拶をする程度の交流がある。	・年に数回、地域の清掃活動へ参加している。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	5	0	・各種マニュアルを作成し、職員に周知している。 ・必要に応じて、保護者へ手紙を配布し周知している。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	0	・月に一回ではあるが、避難訓練を実施している。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	5	0	・見学や契約の際に、保護者と情報共有をしている。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	0	・事前に確認し、除去したおやつを提供している。 ・誤って提供することが無いよう、複数の職員で毎回確認を行っている。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	0	・ヒヤリハットを作成して共有し、必要を感じた場合には、法人全体で共有している。	

46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	0	・法人内の職員が外部研修を受け、法人全体に伝達講習として、虐待防止研修を実施している。	
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	5	0	・職員間で周知している。 ・保護者には、契約の際に説明し、同意を得ている。	